

Cross Talk 03

毎日放送(MBS)アナウンサー

古川 圭子さん

ふるかわ・けいて

毎日放送(MBS)アナウンサー

玉巻 映美さん

たままき・えいみ

常翔学園高校3年 放送部部長

中辻 まなみさん

なかつじ・まなみ

常翔学園高校3年 放送部部員

北村 莉咲さん

きたむら・りさ

多くの人に見てもらえるアナウンサー 喜びは大きい、批判を受ける覚悟も

常翔学園の設置学校に在籍する学生、生徒、教職員が各界の“一流人”と語り合う「クロストーク」。第3回は常翔学園高3年で放送部部長の中辻まなみさんと部員の北村莉咲さんの2人が、大阪の毎日放送(MBS)のアナウンサー、古川圭子さんと玉巻映美さんにアナウンスについての疑問やその面白さなどを聞きました。

同高放送部は先月、NHK杯全国高校放送コンテスト(創作テレビドラマ部門)に大阪府代表として初出場したばかりです。毎日放送本社を訪れた2人は、日ごろのドラマ制作やアナウンス活動で気になっていたことについて、プロならではのアドバイスをもらいました。

(18ページに関連記事)

北村 はじめまして。今日はよろしくお願いします。私たちは平日の昼休みに約15分間の「常翔アフタヌーン スマイルステーション」というタイトルの校内放送をしています。音楽を流す以外に何人かでトークをするのですが、笑い声が特に大きくなってしまいが気になります。どうしたらいいですか？

古川 私は「笑い声がうるさい」と苦情のメールをいただくことがあります。だから素で笑う時よりは控えめに笑ったり、瞬間的にマイクから少し離れるようなこともします。でも笑わないのはつまらないし、効果音的な役割もあります。

玉巻 笑うことはそんなに悪いことではないですよ。でもそうした笑い声に対する自覚があること自体は素晴らしいですね。

中辻 私たちは合唱祭やオープンスクール、体育祭など学校行事の司会進行(MC)も担当しますが、シナリオ通りにいかないことも多く、アドリブでつなげることもあります。そんな時の間の持たせ方を教えてください。

玉巻 イベントならばあらかじめお知らせしたいことの載ったチラシを何枚か持って置いて、困ったらこれを言おうと準備します。

古川 前の出し物を振り返って、「どうでした？」などと客席とコミュニケーションを取りながら間を持たせるといった方法もいいですよ。

関西弁から標準語への切り替えスイッチを

中辻 ドラマを撮影している時などに関西弁がどうしてもポロっと出てしまい、撮り直しすることがあります。大阪で出身のお二人ですが、関西弁と標準語で苦労することはありますか？

古川 関西弁から標準語への切り替えは気合ですね。ニュースなどの原稿を読む時は、自分の中でパツと標準語のスイッチを入れます。私は親が関西出身ではなかったのですが、子供のころは母親とは標準語、

友達とは関西弁という使い分けをしてきたからスイッチのオン・オフには慣れているのかもしれません。自分でコントロールできることが大事で、今日は標準語だけで話そうというような訓練を放送部のなかでやってみたらどうですか？

玉巻 関西弁と標準語を上手に使い分けしているアナウンサーは多いと感じます。私も相手が緊張していると思った時は、あえて関西弁で話し掛けたりします。

癖なく素直な話し方 マイクに頼らない意識

北村 私たちはドラマ制作の活動が多く、アナウンスの訓練は不十分だなと思っています。どうしたらアナウンサーの皆さんのような話し方ができるようになりますか？

古川 私はアナウンスのコンクールの審査員をやることもありますが、アナウンサーばかりやろうとしてわざとらしい話し方になる人がいます。実はアナウンサーは癖なく原稿を読んでいます。素直な話し方が一番大事ですね。

玉巻 入社して研修の時はテレビニュースをよく聴くことからやりました。好きな話し方のアナウンサーを真似して練習しました。

古川 現代はインターネットでもニュースの動画と字幕が出るので、昔のように録画してテープ起こしするような手間もかけずに簡単に練習できます。

北村 私たちはラジオドラマを年間5～6本、テレビドラマを2本制作していて、その中で女子の声のマイクに入りやすいのに、男子の声は入りにくく苦労します。プロは声の調子をどうやって調整しているのですか？

